



神戸大学 大学教育推進機構

外国語第I教育部会(英語)



神戸大学

大学教育推進機構

[神戸大学外国語第I教育部会\(英語\)](#) <授業外学習 > 英語の辞書と検定試験

最終更新日:2024年3月31日

文責:大学教育推進機構教授 石川慎一郎

英語辞書の世界

■辞書選びのポイント

一般に、古いものを大事に使い続けることは美徳ですが、こと辞書については、改版のたびに内容が改善・改良されていますので、大学入学を機会に新しい辞書を揃えることを考えてみてはいかがでしょうか。大学生に用意してほしい辞書は、(1)中辞典、(2)大辞典、(3)英英辞典の3種類です。

■英和中辞典

日々の予習や復習に一番多く使用するのがこのレベルの辞書です。大修館書店の『[ジーニアス英和辞典](#)』(6版、2022)は日本の英語辞書学・英語語法学の伝統の最良の部分を継承した辞書で、詳細で明快な語法記述に定評があります。三省堂の『[ウィズダム英和辞典](#)』(4版、2018)は、大規模電子データベースであるコーパスを全面的に活用した辞書で、現実の英語の姿を正確に再現することにウエイトが置かれています。

■英和大辞典

中型辞書はコンパクトで便利ですが、英字新聞や英語のニュースを理解し、さらには専門分野の論文などを読むには語彙量が不足しています。大学での英語学習に新たに必要になるのが大型辞書です。大修館書店の『[ジーニアス英和大辞典](#)』は、ジーニアスシリーズの最上位の辞書で、語の使用頻度をコーパスに基づき決定して記載するなど、ユニークな特徴を持っています。研究社の『[新英和大辞典](#)』(6版)は、収録語彙の幅も広く、百科事典的な項目も豊富に取り込んでいます。これらは、神戸大学図書館で使用することができます。

辞書の世界では「大は小を兼ねる」わけではありません。中型辞書は英語を学ぶための辞書、大型辞書は英語で調べ物をするための辞書であり、使い分けが重要です。中型サイズながら大型辞書的な方向性で編纂された辞書に、研究社の『[リーダーズ英和辞典](#)』(3版、2012)があります。

■英英辞典

英語のニュアンスを正しくつかむには、日本語に置き換えるのではなく、英語の定義を読むことが重要です。大学生であれば、英英辞書は必ず手元においていただきたいと思います。英英辞書の定番は、[Oxford Advanced Learner's Dictionary](#) (10 版、2020) (※通称 OALD オールド)、ロングマン社の [Longman Dictionary of Contemporary English](#) (6 版、2014) (※通称 LDOCE:エルドス)、コリンズ社の [Collins COBUILD Advanced Learner's Dictionary](#) (10 版、2023) (※通称 Cobuild コウビルド) の 3 冊です。オックスフォードの辞書には、コンピュータ上の辞書サイトにアクセスできる権利が付属しています。

■辞書をもっとよく知るには

英語の辞書をよく知ることは、英語をよく知ること、さらには英語学習のコツを学ぶことにもつながります。英語研究と辞書のかかわりに興味を持たれた方は、H. ジャクソン(著)、南出康世・石川慎一郎(監訳)『[英語辞書学への招待](#)』(大修館書店、2004)などの書籍に目を通してみることをお勧めします。

英語の検定試験

■なぜ外部試験が必要か？

高校までの英語学習の場合、英語力は学校内の定期試験や各種の模擬試験で継続的に測定されていました。皆さんは、その都度の試験の結果を受けて、自身の英語学習を調整してきたはずですが、大学でも、引き続き、英語の授業を受けていただくことにはなりますが、大学の評価はあくまでも各教員が行う授業内でのパフォーマンスに基づくもので、同じ基準で、皆さんの英語力の変化を継続的に測定・診断するものではありません。このため、自主的に英語の外部試験を受けて、自身の英語力の現在の水準と、変化のパターンを把握しておく必要があるわけですね。

■大学生はどんな試験を受けているのか？

英語の能力を測る試験には様々なものがありますが、最近の大学生が多く受験しているのは、海外のテスト機関が運営する(1)TOEIC(トイーック)、(2)TOEFL(トーフル)、(3)IELTS(アイエルツ)の3種の試験です。(1)と(2)は米国のETSというテスト機関が、(3)は英国のケンブリッジ大学英語検定機構等の機関が実施しています。

(1) は主としてビジネス場面で必要となる英語力を測ります。一方、(2) は主として米国の大学で、(3) は主として英連邦の大学での生活で必要となる英語力を測ります。このため、たとえば、同じリスニングでも (1) であれば社内で会議室を予約したり、ミーティングの調整をしたりするといった内容を聞き取る問題が出され、(2) や (3) であれば、大学の教務課でのやりとりや、大学の模擬講義などを聞き取る問題が出されます。

■公式試験の概要

TOEIC には 2 種類あります。リスニング&リーディングテスト(LR と呼びます)は、マークテスト方式で、試験時間は約 2 時間、満点は技能ごとに 495 点(合計 900 点)です。スピーキング&ライティングテスト(SW と呼びます)は、コンピュータ上で回答します。試験時間は約 80 分、満点は技能ごとに 200 点(合計 400 点)です。

TOEFL は、4技能全てが測定されます。試験時間は約 2 時間、満点は技能ごとに 30 点(合計 120 点)です。すべてコンピュータ上で回答します。

IELTS も、4 技能全てが測定されます。試験時間は約 2 時間 45 分です。一般的なペーパー版の場合、リスニング、リーディング、ライティングは筆記式、スピーキングは面接方式です。IELTS は得点ではなく、9 段階のレベル評価がなされます。

■公式試験の受験料

学外で公式試験を受ける場合、TOEIC は 7,810 円(スピーキング・ライティングテストは別途 10,450 円)、TOEFL は 245 ドル(1ドル 130 円の場合は約 32,000 円、1ドル 150 円の場合は約 37,000 円)、IELTS は 27,500 円の受験料が必要です(2024 年 1 月現在)。なお、受験料は今後変更される場合があります。

■学内で受けられる IP テスト

神戸大学では、3 種の試験のうち、TOEIC(LR)と TOEFL については、大学教育推進機構国際コミュニケーションセンターと神戸大学生協の共催により、学内で 団体特別試験(institutional program=IP 試験) が受けられます。学内では、これらを「神戸大学 TOEIC テスト」、「神戸大学 TOEFL テスト」と呼んでいます。

「神戸大学 TOEIC テスト」の受験料は、LR が 4,400 円です。「神戸大学 TOEIC テスト」の試験時間・問題内容・レベル・スコア基準は、公式試験とまったく同じです。

「神戸大学 TOEFL テスト」の受験料は 5,700 円です。ただし、「神戸大学 TOEFL テスト」は、過去に実施していた旧式の TOEFL の問題を使用しています。したがって、試験時間・問題内容・レベル・スコア基準とも、公式版の TOEFL とは異なります。

■新入生に1回限り適用される「受験料補助」制度

2024 年度入学生は、入学年度において、1回のみ、上記の試験を特別な割引価格で受験

することができます。この制度を利用した場合の受験料は、「神戸大学 TOEIC テスト(LR)」が 1,500 円、「神戸大学 TOEFL テスト」が 1,500 円です。差額は大学が負担しています。

なお、4 月入学後、6 月までに受験した場合は、得られたスコアを使って、1 年次後期の英語授業の単位授与制度（高得点者に限り、後期の英語授業の単位を授与する）や、ACE（英語の能力と学習意欲が高い学生向けの選抜制英語特別クラス）の申し込みを行うことができます。

■ 試験の選び方

新入生の皆さんは、どの試験を受けるべきか、迷われることも多いと思います。試験を選ぶ際の判断のヒントを 4 つ示しておきます。

(1) スコアを就職活動で使いたい場合

就職活動でスコアを使用したい場合は、「神戸大学 TOEIC (LR)」が良いでしょう。TOEFL (とくに、学内で実施している旧版) や TOEIC の SW テストはビジネス界では普及しておらず、英語力の証明としては使いにくい現実があります。TOEIC (LR) は、多くの企業が社内の社員研修などでも使用しています。また、学内で実施する IP テストのスコアであっても、公式テストのスコアと同等のものとして認めてくれる企業が大半です。

(2) 留学を考えている場合

米国への留学を強く希望している場合は、「神戸大学 TOEFL」を受験して、米国の大学での講義や教務課での事務手続き、また、学生同士のやり取りなどが理解できるよう、学習を進めるのが良いでしょう。ただし、学内試験は非公式のテストのため、学内試験のスコアを留学の際に相手先大学に提出することは一切できません。留学には、「神戸大学 TOEFL」などで問題のおおよその難度や方向性をつかんだ後、専用の試験準備を行い、学外で実施される正式の「TOEFL テスト」(※内容も時間も学内試験とは異なります)を受験し、必要なスコアを取得することが必要です。英連邦への留学を強く希望している場合は、IELTS の受験が必要です。IELTS については、学内試験がありませんので、各自で準備して公式試験を受験することになります。その際、おおよそ英語圏の大学で要求される英語力の感触を得るためには、「神戸大学 TOEFL」を参考として受けておくこともよいかもしれません。

なお、留学希望者であっても、卒業後には、国内での就職を希望される場合も多いでしょう。そうであれば、留学に特化した TOEFL や IELTS だけでなく、「神戸大学 TOEIC (LR)」もあわせて受験しておくことを薦めます。

(3) スピーキングやライティングの能力を試したい場合

すでに「神戸大学 TOEIC (LR)」で一定の成績(たとえば 700 点以上)を取っている場合は、TOEIC (SW)を学外で受験してみることを薦めます。LR の 700 点以上のスコアと、SW のスコアを組み合わせることで、就職活動などの際に、自分の英語力をより効果的にアピールすることができます。なお、TOEIC は、LR がベースの試験で、SW は上級者向けの付加的なもの、と位置付けられています。その意味で、まずは LR を受験し、LR のスコアが一定のレベルに達した後、プラスアルファとして、SW を受験することを薦めます。

(4) 大学院受験でスコアを使いたい場合

大学院(研究科)によっては、入試における英語試験の代用として、外部試験のスコアを提出するよう求めている場合もあります。大学院受験でスコアを使いたい場合は、まず、志望先の研究科の入試情報をよく調べ、どの試験のスコアが受理されるか確認する必要があります。ただし、大学院受験の場合は、校内試験ではなく、学外で実施される公式テストのスコアが必要です。最初に「神戸大学 TOEIC」や「神戸大学 TOEFL」などでそれぞれの試験の問題の概要をつかんだ上で、適切な時期に外部の公式試験を受験し、出願時点までにスコアを揃えるようにしてください。

■ 外部試験の対策

大学入試の英語と比べると、「神戸大学 TOEIC」、「神戸大学 TOEFL」ともに、問題のレベルや内容が大きく異なります。その意味で、入学後、「受験料補助」を受けて 6 月までにいずれかのテストを受けようとする場合、事前に一定の対策をしてから受験することを強く薦めます。逆に、何の対策もなしで受けてしまうと、せっかくの受験機会が不本意な結果で終わってしまうことになりかねません。

受験準備を行おうとする場合、神戸大学図書館には、各種の外部試験の解説書や問題集が豊富にそろっています。ぜひ、借りだして利用しましょう。実際の試験時間に合わせて一通り問題を解いてみることで、試験の流れや時間配分のコツをつかむことができます。さらに、神戸大学生協(書籍部)には、関連の書籍や、対策講座なども用意されています。必要に応じてこれらもうまく利用するとよいでしょう。

なお、神戸大学で行われている英語の授業は、現代社会で必要となるアカデミックイングリッシュの能力を多面的に養成することを目的にしたもので、外部試験の対策を意図したものではありません。しかし、日々の授業で学ぶ語彙や表現、また、各種の知見は、間接的に、それぞれの試験準備にもつながるものです。予習・復習を含め、日々の授業にしっかり取り組むことが全ての基本となります。

新入生の皆さんが、外部試験をうまく活用して自分の英語学習を自律的にデザインし、大きな成果が得られるよう願っています。

各試験の年間スケジュールは以下の通りです。(下記は予定です。変更の可能性があります。)

神戸大学 TOEIC(LR)	神戸大学 TOEFL
第 1 回 2024 年 5 月 11 日 (土)	第 1 回 2024 年 5 月 11 日 (土)
第 2 回 2024 年 5 月 25 日 (土)	第 2 回 2024 年 5 月 25 日 (土)
第 3 回 2024 年 6 月 15 日 (土)	第 3 回 2024 年 6 月 15 日 (土)
第 4 回 2024 年 11 月 2 日 (土)	第 4 回 2024 年 12 月 7 日 (土)
第 5 回 2024 年 12 月 7 日 (土)	第 5 回 2025 年 1 月 25 日 (土)
第 6 回 2025 年 1 月 25 日 (土)	